

令和2年度

北島中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ① 自分の考えや思いを自分の言葉で表現する力を伸ばす指導の充実
- ② 学校と家庭との連携による学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	教務	近藤勝重
桑原紀子		第1学年主任	橋本光江
稲富しのぶ		第2学年主任	小川清晴
貞野剛範		第3学年主任	平野よしみ

校長

片倉 繁樹



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全般的に落ち着いた態度で、基礎的な問題や課題に意欲的に取り組むことができる。 ●新しい課題については興味関心を持ち意欲的に取り組むことができるが、繰り返し確認していく学習で、根気強さや意欲が不十分になっていく傾向がある。	基礎的・基本的な事項について、繰り返し粘り強く取り組み、学習に対する興味・関心・意欲を身につけている。	①朝学習のセミナー、自主学習などの提出物をチェックし、継続的に取り組むように指導する。 ②基礎的・基本的な内容の小テストを実施し、合格点に達しなかった者には補充学習を実施する。 ③授業はじめの目標(めあて/ねらい)を板書等により生徒に提示する。	授業はじめの目標を生徒に提示することを徹底する。	①朝学習のセミナー、自主学習を提出することができていない生徒に関しては、放課後や休み時間を使って仕上げさせた。 ②実施の仕方や回数は各教科に委ねられているが、概ね実施できている。 ③教科や状況にもよるが、ほとんどの教職員が目標を提示できた。	授業はじめの目標は、ほとんどの教職員が提示できているが、確実に提示できるよう、教職員への働きかけをもっと行いたい。また、各教科で使用されたワークシートなどの教材を共有できる体制を整え、基礎的・基本的な事項の定着ができるよう学校全体で取り組んでいきたい。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習方法がわかっていたり、指示された内容がはっきりしていたりすることに対しては、意欲的に取り組むことができる。 ●答えがわかっても、自分の考えや思いを表現することが苦手な生徒が多い。自主的に表現していけるよう工夫が必要である。	自分の考えや思いを目的や条件に応じてわかりやすく相手に伝えることができる。課題解決のために資料や情報を効果的に活用することができる。	授業の中で考えさせる場面や自分の考えや思いを表現させる場面をあらゆる機会を捉えて設け、言語活動の充実を図る。教科部会を中心に、研究授業や相互授業参観を行い、生徒が主体的に取り組む授業展開を推進する。	すべての教科で言語活動の充実を図り、ペア学習やグループ活動などの機会を取り入れる。	自分の考えや思いをわかりやすく相手に伝えるような活動を各教科で取り入れた。できる生徒は増えたが、苦手意識をもっている生徒も少なくない。また、研究授業やメンター研修に積極的に参加することにより、教職員同士が互いの意見を持ち寄り工夫した。資料や情報を効果的に活用できた。	自分の考えや思いをわかりやすく相手に伝えられるようになった生徒は増えたが、苦手意識をもっている生徒に対していかに寄り添い、少しでもその意識を払拭できるかが課題である。少しでも発言しやすい授業づくりや学級づくりができるように、研修をしていきたい。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については、ほとんどの生徒が真面目に根気強く取り組み、提出することができる。 ●家庭学習が十分に定着していない傾向がある。学習の内容に大きな差があり、何をしてよいのかわからない生徒も少なくない。	目標をもち、それを達成するための計画を立て、家庭学習に意欲的に取り組むことができる。	①各教科で課題を出し、家庭学習の充実を図る。 ②生徒自らが作成した学習計画のもとテスト勉強に地道に取り組むことを習慣づける。 ③進路を見据えた学習指導を行う。	家庭学習の時間および内容を充実させる。	①各教科で課題を出すのがテスト前に集中することがあった。 ②学校全体で計画を立てさせ、学級担任が助言をしたり、三者面談で問題点などを話し合ったりした。 ③三者面談では保護者を交えて進路について話し合い、学級ではキャリアパスポートを使うなど、将来や進路を見据えた学習ができた。	テスト前でなくとも授業に集中し、落ち着いた家庭学習に取り組める生徒を増やしたい。また、課題を出されなくても、自ら考えて計画的に学習を推し進めることのできる自主性を養いたい。そのために、教職員間で情報を共有したり、研修などを通して、学習の方法や仕方について生徒に示したりする必要がある。

令和2年度 学力向上ロードマップ

